



第1回院内感染防止研修会

院内感染制御チーム（ICT） 栗原 美智



7月14日（火）梅雨の合間の澄み渡る青空のもと、第1回院内感染防止研修会があじさい館で行われました。

研修は2部構成で、第1部は「府中療育センターBCP～新型インフルエンザ編策定について」永山豊和事務次長による講義が行われました。新型インフルエンザはどのようなものなのか？国や東京都はどんな対策を行っているのか？いざというとき当センターはどのような対策が行われるのか？などからBCPの重要性が示されました。

第2部はICT劇団員（？）によるロールプレイ「ある病棟の散歩場面」が行われました。日常の散歩場面でしたが、感染防止対策上問題の点が示され、その後多職種がそろってグループ討議されました。どの班からも活発に意見がだされていました。

最後に司会の石川医師より、客観的に見ていると「これはいけないこと」と冷静に判断できるが、日常の場面では、ついやってしまうことがあるので注意が必要。そして感染防止は研修後の一時的なブームで終わらせるのではなく、文化にしようとの話がありました。

感染防止は1人1人が意識していかなければ意味がありません。

府中療育センターの文化として徹底していきましょう！



1-B 納涼会～光るお化けを楽しみました～

保育士 黒田 桂子

7月22日（水）納涼会を行いました。

6月の末から1か月近くの時間をかけて、日中活動の中で制作活動としてお化けの絵のカードを蛍光絵の具で描き、少しずつ納涼会に向けての気持ちを盛り上げて、みんなで楽しみながら準備をしました。

当日は、病棟内の全てのカーテンを閉めて、電気を消して…ベッドルームの一角をカーテンや鏡で仕切って通路を作りました。みんなで作ったお化けのカードや光る棒等をぶらさげて、通路のカーテンにはお花紙を火の玉が飛び交う様に点々と貼り付けて、ブラックライトを所どころに設置して怪しく光るお化けたちの世界が出来上がりです。参加者は、暗い入り口を入るとまず、冷たい霧が顔に振ってきて「ヒヤリ！」として、次に通路のどこからか猛犬のいびきが聞こえてきて…狭い通路の入り口で光る棒をゲットしてお化けたちが漂う中に入っていきます。ようやく出口が見えてきたところで、「♪～お化けの世界によろこそ～」とみんなの顔に冷たく白い「潤い美肌フェイスマスク」をペタッと貼り付けます。

暑い日の続く1日、みんなで作ったお化け屋敷と、潤いツルツルお肌の顔を堪能しました。





夏祭り特集



2-A病棟「夏祭り」開催！

保育士 木村 里佳

7月15日（水）2-A病棟では夏祭りを楽しみました。朝から浴衣や甚平に着替え、気分はどんどん盛り上がります。昼食までには各コーナーの飾りつけもできあがり、祭りの音楽で雰囲気も十分！午後になり、いよいよ夏祭りの開催です。にぎやかな盆踊りの音楽と共に妖精に扮した担当の合図で各コーナーが始まりました。今年のお祭りは3つのコーナーを設置しました。

まずは浴室の「ヨーヨー釣り」コーナー。紅白幕と簾が飾られた空間にヨーヨー屋さんの出店です。色とりどりのヨーヨーを、磁石のついた棒で釣り上げます。なかなかつれなくても大丈夫。ベテランボランティアの方がさりげなくフォローしてくださり、みんな無事にヨーヨーをゲットできました。次はベランダの「くじびき」です。箱から選んだくじを開けて番号を読みます。「何か当たるかな？」大きな景品を手にして喜ぶ姿が印象的でした。ここもボランティアの方がていねいに手を貸してくださり、一人ずつくじを引くことができました。そして最後はお待ちかね「飲み物コーナー」です。おいしいジュースに思わずにっこり。お祭り気分で味わう飲み物はいつもと一味違うようです。

楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。また来年も素敵なお祭りができますように。



3階合同夏祭り

3-1 保育士 柏木 奈穂美

7月22日（水）3階合同の夏祭りを開催しました。

今年は筑波大学のサークル斬桐舞（きりきりまい）に、よさこいソーラン踊りを披露して頂きました。16名によるソーラン節で始まりとても迫力があり、利用者の方は、目を丸くして見入っていました。3-1と3-2それぞれの病棟でも踊って頂き、3-1では「しゃけ」という鯉のポーズをとる楽しい踊りを披露してもらい、利用者の方々も鳴子を鳴らし盛り上がりました。

ゲームコーナーは指導科や訓練科、くぬぎの先生も手伝いに来てくれました。また、踊り終わった斬桐舞の皆さんも各コーナーに入ってくれ、利用者の方はふれあいを楽しむことが出来ました。

「ヨーヨー釣り」は磁石付きの釣竿で、皆さん上手に釣り上げていました。

「的当て」は提灯にぶら下げた景品（靴下）目がけ、バッティングボールをぶつけます。思いどおりに当て喜んだ方や、男子なのにピンクのキティーちゃんを当ててしまった・・・なんて方もいました。



「くじ引き」は、魚の飾りやハートの風船、手作りのおもちゃが当たります。狙いどおりにはならない様でした。

「ヨーヨー釣り」と「くじ引き」は病棟に出張してもらい、全員が夏祭りを楽しむことが出来ました。

プール開き

指導科 安齋 美穂



7月15日(水) 前日までの台風も去り、青空のもと毎年恒例のプール開きが行われました。立っているだけで暑く汗が止まらないような天気の中でしたが大勢の利用者さんと職員の皆さんが参加してくれました。

みんなで唄って遊ぼう。まずは、「どんな色が好き」でスタート。いろいろな色のクレヨンに変身しダンスも交えて歌いました。好きな色を選んでくれた利用者のみなさん・ありがとうございました。今回は選べなかった方は好きな色考えておいてくださいね。

次に夏の思い出、涙そうそうをしつとりと、南の島のハメハメハ大王を元気に楽しく、海はオーシャンドラムの音とともに夏の唄を歌って演奏しました。

最後に海の神様「院長」の登場で安全祈願です。掛け声とともに各病棟のベランダ、中庭等参加者全員での風船飛ばしです。真っ青な空にぐんぐん吸い込まれていくきれいな色。夏が始まったなと感じることができました。

暑い暑い今年の夏もたくさんの笑顔で過ごせますように。



平成27年度 第1回交通安全講習会が開催されました

事務室 山口 裕輔

6月18日(木) あじさい館多目的室において、平成27年度第1回交通安全講習会が行われ、府中療育センター職員64名と多摩療育園職員2名が参加しました。

講習会は府中警察署員の方を講師にお招きし、前半は昨今社会的にも関心の強い自転車乗車時の危険予測に関するDVDの視聴、後半は講師の方による講話という内容でした。

自転車乗車時の危険予測DVDでは、法令違反になる自転車の乗り方や違反乗車を行った際、どのような事故に繋がるか等を学習しました。例をあげると、イヤホン等をしたまま自転車に乗る、スマートフォンを操作しながら自転車に乗る等、ながら運転の危険性を再確認しました。

また、自動車安全利用五原則の講話に「子供はヘルメットの着用」というものがあり、幼児用シートに乗せるときは、幼児用ヘルメットの着用はもちろん、シートベルトがある場合必ず締める等、自転車乗車本人以外の安全に関する教育もありました。自転車走行中に右折する方法としては、常に二段階右折を実施するという映像があり、常日頃から注意すべきだと思いました。

後半の講話では、法律改正に伴い、違反すると懲役または罰金が科せられ、3年以内に2回違反をした場合講習を受けなければならないことをお話いただきました。

DVDの放送では違反乗車を行い、相手に損害を与えた場合、3千万円の慰謝料を請求されるといった事例もあり、自転車に乗ることの怖ささえ覚える程でした。

また、雨天時傘をさしながら自転車に乗車した場合、視野が狭くなる等の危険性についてのお話しや自転車事故の多い曜日や死亡事故の多い曜日などのお話しから、気持ちのゆるみ等から注意が散漫になっていることが事故につながりやすいことを改めて認識させられました。

加えて、交通事故で最も多い事故が私用のため自動車又は自転車を使用している場合であることをお話いただき、業務上の運転はもとより私生活においても講習会で学んだことを活かしていきたいと思いました。

最後に、第2回交通安全講習会を11月に開催する予定です。自動車や自転車における自分の運転や交通安全の意識を見直す機会として、今回参加できなかった職員の方は是非参加してください。よろしくお願いいたします。



平成27年度第1回重症心身障害児者施設・肢体不自由児施設等MSW連絡会

医療福祉相談室 太田 恵

6月25日(木)当センターにおいて、今年度第1回重症心身障害児者施設・肢体不自由児施設(医療型障害児入所施設・療養介護施設)等のMSW連絡会が開催されました。都内の18施設で、年3回、各施設で持ち回りで開いており、当センターでは6年ぶりとなります。当日は16施設、総勢24名の医療ソーシャルワーカーにご出席いただきました。

院長、事務次長による挨拶の後、自己紹介とともにそれぞれの施設における、長期入所、短期入所、通所事業、外来部門などの状況報告をしていただき、そのあとで業務上の課題や対応について活発な意見交換が行われました。話し合うなかで、現在の職場におけるニーズの複雑・多様化が伺えました。各項目について論議するには時間が限られていましたが、MSW相互の連携、協力、情報交換の必要性を再確認しました。今回が初参加の出席者もあれば、長年参加していたが、退職のため最後となるので、お世話になった皆様に挨拶したかった、との発言もあり、この会が、MSWの中で有意義に継続されていることが確認された場となっていました。

情報交換の後、くぬぎ分教室、訓練室、医療病棟、生活病棟、通所部門を見学していただきました。ご協力いただいた皆様にごの場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。



自衛消防訓練審査会に参加しました

事務室 古本 恭子

6月26日(金)府中市民陸上競技場にて、府中消防署主催の自衛消防訓練審査会が開催されました。この審査会は、事業所の防火管理体制の充実と防火意識、活動技術の向上を目的に行われており、今年度は41隊が日頃の訓練成果を競い合いました。当センターからは、男女混合隊と女子隊の2隊が出場しました。

隊員に選ばれた6名のメンバーは、5月から約1か月半の間、あじさい館横のグラウンドで計11日間の練習を行いました。審査会では、消火器での初期消火や非常放送を使った避難誘導、119番通報、屋内消火栓の操作等を正確に行い、さらに隊員同士が動作を揃えなければならないため、何度もDVDを見て確認したり、苦手な箇所を繰り返し練習したりしました。指導に来てくださった府中消防署の方からは、手足の動かし方や台詞の言い方、さらに表情まで、細部に渡り指導していただきました。

本番はあいにくの小雨模様でしたが、院長先生をはじめ多くの方々に応援に来てくださり、緊張した雰囲気の中で行われました。思わぬミスはあったものの、女子隊・混合隊とも、隊長を務められた平山事務長や府中消防署の方々に、これまでで一番の出来と褒めていただける演技ができ、結果は、女子隊が昨年に引き続き優秀賞(3位)、混合隊が敢闘賞でした。

この経験を活かし、災害に備えて自助・共助の力を高めていきたいと思えます。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/>

fuchuryo/index.html